

環境通信 第9号（6月号）

令和2年6月発行（年4回発行）・発行元：大分市環境対策課・地球温暖化対策おおいた市民会議

地球温暖化と感染症

新型コロナウイルス感染症が世界中で猛威を振るっています。昨年12月ごろに、大分市の友好都市でもある中国・武漢市で見つかった新型コロナウイルスは、わずか4か月足らずで瞬く間に世界中に広がりその被害を拡大させています。

コロナウイルスとは、人などの哺乳類や鳥類などに広く存在するウイルスで、人に蔓延している風邪のような症状を引き起こす4種類のコロナウイルスと、動物から感染し深刻な肺炎を引き起こす2種類のコロナウイルスがこれまで確認されていました。そして今回新たに見つかったのが、新型コロナウイルス（COVID-19）です。この新型コロナウイルスに感染すると、発熱や咳など呼吸器の症状が出るほか強いだるさ（倦怠感）を訴えることが多いのが特徴です。また、重症化すると肺炎を引き起こし死亡例も確認されている恐ろしい感染症です。

感染症とは、ウイルスや細菌などの病原体が体内に侵入し感染することによっておこる病気のことです。病原体が体に侵入し、何らかの症状が現れた場合、感染症と呼ぶのです。世界中に様々な感染症が存在しますが、中でも地球温暖化によって感染症のリスクが高まるといわれている感染症があります。代表的なものとして、蚊が媒介して人間に感染するマラリアやデング熱、日本脳炎、水を媒介して感染するコレラなどがあります。

マラリアやデング熱は、よく外国から日本に持ち込まれたと思われがちですが、マラリアは明治時代に、デング熱は1940年代ごろに流行が報告されており、実は過去に日本で発生していた感染症なのです。蚊の生息条件や日本人の住居環境などが変化し、たくさんの蚊に吸血されることがほとんどなくなったことでこれらの感染症の日本での流行はなくなりましたが、温暖化が進み自然災害などが多発すると、生物の環境が変化し、再発・再流行する可能性が高まります。

また、平均気温が上昇することで、蚊が体内のウイルスを増殖・活性化する可能性があります。さらに暑さにより半ズボンや半そでなど軽装で過ごすことが多くなり、蚊に吸血される機会も多くなることで感染リスクが高まることも予想されます。

アジアで広く流行し、高熱や意識障害、重症化すると精神障害や運動障害などを引き起こす日本脳炎のウイルスを媒介する蚊は、夏の気温が高い年に活発になることがわかっています。ワクチンの予防接種が開始されてから日本の患者数は大幅に減少しましたが、気温の上昇によりウイルスを媒介する蚊の生息域が広がり活発化すると、患者数がまた増えてしまうかもしれません。



コレラは海水中にプランクトンと共生し生息しているコレラ菌という細菌によって引き起こされる感染症で、温暖化の影響で海水温が上がると、プランクトンが増えコレラ菌も増えてしまうことが予想されています。

今回の新型コロナウイルス感染症で、感染症が私たちの生活にもたらす影響の大きさを多くの人が実感したのではないのでしょうか。当たり前だった学校生活や仕事、買い物の方法ががらりと変わり、医療崩壊の危機や経済停滞の中で生活する今、「地球温暖化」の問題を考える余裕はあまりないかもしれません。しかし、世界の様々な感染症も地球温暖化問題と決して無関係ではなく、温暖化が進むことでそのリスクが高まることが懸念されます。

地球温暖化は、感染症だけでなく、異常高温や海面上昇、台風の強大化や水不足など様々な影響を私たちの生活に与えます。このようなときだからこそ、地球温暖化や環境問題について、ゆっくり家で考えてみませんか？大分市のホームページの「地球温暖化対策おおいた市民会議」のページでは、市内小中学校で行っている出前授業で活用している「大分市地球温暖化対策ガイドブック」を見ることが出来ます。この機会に是非、調べ学習などで利用してみてください。

大分市のホームページから「地球温暖化対策おおいた市民会議」で検索するか、下記URLへ！

【地球温暖化対策おおいた市民会議】

http://www.city.oita.jp/o141/machizukuri/kankyo/14943_04873701.html



今年も熱中症に気を付けよう！！

熱中症は、ただ気温が高く暑いからという理由だけで引き起こされるものではありません。気温や湿度が高く、また風が弱いといった環境面の要因と、激しい運動で体に熱がこもってしまったり、気温の高い状況に体が慣れていないといった行動面や体調面の要因などによって体温調整のバランスが崩れ体に熱がどんどんたまってしまう状況が熱中症を引き起こします。

このことから、熱中症を防ぐには、体調が悪い時は無理をしないこと、こまめな水分補給と塩分補給、

日傘や帽子の活用、十分な体調管理が有効です。また、熱中症対策の目安となる暑さ指数（WBGT）

を活用しましょう。暑さ指数（WBGT）は、熱中症を予防することを目的として1954年にアメリカで提案された指標で、単位は気温と同じ「℃」で示されます。ただその値は気温とは異なり、人体と外気との熱のやりとり（熱収支）に着目した指標で、人体の熱収支に与える影響の大きい①湿度、②日射など周辺の熱環境、③気温の3つを取り入れた指標です。この暑さ指数（WBGT）が28℃を超えると熱中症にかかりやすくなります。蒸し暑い日は特に注意が必要です。

また、熱中症の症状（めまいや立ちくらみ、頭痛、吐き気、意識障害など）が出ている人がいたら、涼しいところで休ませ水分補給をしてあげましょう。危険な場合はすぐに救急車を呼ぶことが必要な時もあります。

今年の夏も、熱中症に気を付けて、暑い夏を乗り切りましょう！



第7期 地球温暖化対策おおいた市民会議委員を紹介します！

氏名 菊池 建次
団体名等 九州旅客鉄道(株)大分支社
団体肩書き 総務企画課 課長代理



本市民会議には第6期から委員として参加しています。
大分支社総務企画課に在籍3年目になります。担当業務は総務関係全般を行っていますが、特に、広報・法務業務、保安・防災業務、印章・文書管理、情報セキュリティ、環境対策、会社行事・イベント業務などを担当しています。

氏名 脇 紀昭
団体名等 (一社)大分県バス協会
団体肩書き 専務理事



本市民会議には、第4期から委員として参加しています。その他にも委員として行政の施策に関わっています。私共バス業界では、産業界の自主的取組である「低炭素社会実行計画」を策定し2020年を目標年次として、CO2の排出削減に取り組んでいます。この目標達成に向けての業界の取組内容は、エコドライブの推進、低燃費バス等の導入促進、燃費性能の維持に配慮した細かい点検・整備を励行しています。

氏名 赤嶺 義美
団体名等 (一社)大分県タクシー協会
団体肩書き 事務局長



本協会の代表としてこの市民会議に第3期から委員として参加しており、今年で10年目になります。
本協会は、一般乗用旅客自動車運送業の適正な運営と利用者に対するサービスの改善を通じて事業の健全な発展を図り、もって社会公共の福祉に寄与することを目的として設立されました。現在の会員数は77社です。

氏名 森下 昌勅
団体名等 (一社)大分県産業資源循環協会
団体肩書き 専務



第7期から本市民会議に初めて参加します。
(一社)大分県産業資源循環協会では、青年部が中心となって平成26年度から小学校4年生を対象とした「環境出前講座」を実施しています。これは、環境について自ら考える子どもたちの育成が地球環境の保全に繋がることから実施しています。

氏名 山田 寿
団体名等 大分日産自動車株式会社
団体肩書き 総務課長



今年度(第7期の後期)より本市民会議に参加することとなりました。現在、総務部総務課に所属しています。本市民会議では普及啓発部会の部会員として、少しでも地球温暖化対策の手助けが出来ればと思います。当社では、100%電気で作るクルマ「日産リーフ」の販売を通して、環境にやさしい車社会の実現に取り組んでいます。また、常に節電を心がけ、特にエアコンの設定温度には気を使うようにしています。

氏名 佐藤 雅昭
団体名等 大分市教育部
団体肩書き 教育部長



平成27年6月から大分市教育委員会事務局に配属となり、令和元年度5月から教育部長として未来を担う子どもたちが変化の激しい社会をたくましく生きる力を育む取組を進めています。地球温暖化や自然環境の破壊、資源・エネルギー問題など地球規模での様々な問題がある中、エネルギーの効率的な利用など環境に対する負荷を軽減し、持続可能な社会を構築するため、児童生徒が環境問題を学ぶことは重要です。

氏名 加藤 典臣
団体名等 大分市農林水産部
団体肩書き 農林水産部長



農林水産部農林水産課では、健全な森づくりを目指して、計画的な伐採から間伐、再生林を推進しています。地球温暖化防止には温室効果ガス、中でも温暖化への影響が高い二酸化炭素濃度を増加させないことが重要です。森林を構成している一本一本の木々は、光合成により二酸化炭素を吸収し酸素を発生させながら成長し、温暖化対策において重要な役割を担っています。

氏名 姫野 正浩
団体名等 大分市都市計画部
団体肩書き 都市計画部長



大分市では、昨年度に低炭素型モビリティ(グリーンスローモビリティ)の「低速電動モビリティ eCOM-10」を購入しました。今年度は、市内での実験運行を予定していますが、この車両は窓ガラスがなく開放感があることから、市民の皆様には四季折々の風景をはじめとして風、音、香りなどを感じていただきたいと思っています。こうした実験運行を重ねる中で、環境への負荷の少ない新たなモビリティサービスの創出を目指してまいります。

氏名 大石 晃
団体名等 大分市環境部
団体肩書き 環境部長



令和2年度より、環境部長に就任いたしました。
本市では、「大分市地球温暖化対策実行計画(区域施策編)」を策定し、市民、事業者、行政が協働して市域の温室効果ガス排出量の削減に向け各種取組を進めてきました。一人ひとりの小さな行動が温室効果ガスの削減につながることから、日々の生活の中で無理なくできるエコな取組などの情報を発信し、取組の啓発に努めるとともに、地球温暖化対策おおいた市民会議において連携協力し、地球温暖化対策を推進してまいります。

委員のみなさん、ありがとうございました。次回は令和2年9月の発行です。お楽しみに！